

都市空間における街区内細街路の回遊行動に関する研究
 —東京都表参道地区において歩行者を誘引させる構成要素の組み合わせ—

A Study on the Walking Behavior of the Narrow Street in Urban Area

- About the factor of combinations that attract pedestrians in Omotesando area, Tokyo -

○今井仁美¹, 岡田智秀², 森 紗耶³

*Hitomi Imai¹, Tomohide Okada², Saya Mori³

Abstract: The purpose of this paper is to clarify important elements affect on walking behavior of the narrow street in Omotesando area. As a result, it clarified the landscape elements that advance consciousness to enter from outside of the narrow streets.

1. 研究目的; 近年では、表通りのような広がりのある空間と共に、それによって区画された街区内の細街路へと一歩入り込み、特定の目的地を定めず、右へ左へと自由にまち歩きを楽しむ回遊行動が大きな魅力の一つとされている。これまで、森ら¹⁾の先行研究では、幹線道路のような大通りで囲まれた街区内の内側にある細街路を「街区内細街路（以下；細街路）」と称し、都市空間の細街路において現地調査を実施し、歩行者の進路を決定づける魅力的な景観特性について展開されてきた。しかし、先行研究では視対象のみの分析に留まっており、視対象と周辺の関係性については明らかにされていない。

そこで本研究では、歩行者の回遊行動に影響を与える構成要素とその周辺要素との関係性を明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法; 本研究では、図1に示す東京都表参道地区のような幹線道路などの大通りに囲まれた細街路を調査対象として、その大通りから細街路を見た際の景観を『外部景観』とし、その細街路の中にある細街路の景観を『内部景観』とする。これらの細街路の構成要素とその周辺の関係性を明らかにするために、表1に示すように印象評価実験を通じて『外部景観』では、「入りたい」「入りたくない」

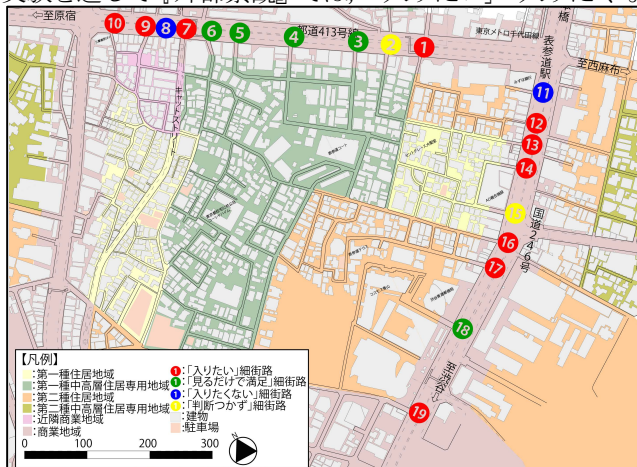


図1 対象地区の概要[筆者作成]

い)について、『内部景観』では、「進みたい」「進みたくない」について被験者に評価させた。この調査結果をもとに、被験者の評価理由と写真投影法から構図分析を展開した。なお、本稿では街区内細街路の外部景観評価を論考する。

3. 結果および考察; 図2は、大通りから眺めた全19ヶ所の細街路の外部景観として、「入りたい」「見るだけで満足」「入りたくない」の3項目で評価した結果を、表2は各細街路の評価理由からみた構成要素別にまとめた表である。表3は各細街路の評価理由を整理したものである。

(1) 印象評価実験結果; 図2より、調査対象とした全19ヶ所の細街路のうち、「入りたい」とする評価が半数以上になったのは①, ⑦, ⑨, ⑩, ⑫, ⑭, ⑯, ⑰の8ヶ所であり、「見るだけで満足」とする評価が半数以上となった細街路は③, ⑤, ⑱の3ヶ所であり、「入りたくない」とする評価が半数以上となった細街路は⑪の1ヶ所のみであった。以降は、これら12ヶ所の細街路に着目し、その評価理由から構成要素とその周辺の関係性を考察する。

(2) 構成要素とその周辺要素の関係性; 表2より、「入りたい」理由として、最も多く評価された構成要素は全8ヶ所中6ヶ所(75.0%)の細街路において『建物』に関する評価であった。その評価理由(表3)に着目すると、6ヶ所全てで「店舗に近づきたい」や「店舗が多い」と評価されていた。この6ヶ所の細街路のうち、『建物』に次いで多かったのは全6ヶ所の細街路に共通して『道路』に関する評価であった(表2)。その評価理由(表3)に着目すると、6ヶ所全ての細街路において「道が奥まで

表1 外部景観の調査概要[筆者作成]

対象地	東京都表参道地区：東京都港区北青山および渋谷区神宮前		
被験者	日本大学理工学部の学生被験者31名(女子15名/男子16名)		
実験期間	2019年7月23日(水)~8月2日(金)のうち平日6日間 11:00~16:00(晴天) 1人:約2時間		
実験内容	調査方法	表参道地区に存在する外部景観の細街路を対象にその印象を被験者に評価させた ①外部景観の印象評価 [3段階評価] 入りたい/見るだけで満足/入りたくない ②それぞれの評価理由を記入させる ③写真上に評価理由となった対象要素に○を記入させる	
	写真撮影	・カメラの種類：OLYMPUS OM-D ・F値(絞りの値)：5.0 ・ズーム(mm)：14 ・シャッター速度(ss)：200 ・ISO(光の量)：200 ・高さ：目線の高さ以上の条件を適用して写真を撮影した	
	分析方法	(1)写真投影法 / (2)被験者による評価理由をもとに構図分析を展開した	

1：日大理工・学部・まち 2：日大理工・教員・まち 3：日本工営株式会社

続いている」「道が曲がっていて進みたい」など奥行への関心のほか、6ヶ所中3ヶ所(50.0%)で「道路が広い」「道幅が丁度良い」という細街路の空間スケールに関する評価がみられた。

これらのことより、細街路の入口における「入りたい」要因として、『建物』は店舗の存在が視認できること、『道路』は奥行があり道が続いていることや道路のスケール感などが評価されていた。つまり、『建物』と同時に『道路』が評価されていることから、双方の関係性が重要であるといえよう。

次に、「見るだけで満足」と評価された理由として、最も多く挙げられた構成要素(表2)は全3ヶ所中2ヶ所(66.6%)の細街路(③, ⑤)において『建物』に関する評価であった。その評価理由(表3)として、否定的な評価では全2ヶ所に共通して「店舗が少ない」や「住宅があるだけに見える」とされていた。このうち肯定的な評価では細街路③のみで「奥の建物に近づきたい」とされていた。また、この2ヶ所の細街路に共通して『建物』に次いで多く挙げられていた構成要素(表2)は『道路』に関する評価であった。その評価理由(表3)としては、細街路③では「登り坂がづらい」、細街路⑤では「行き止まりだから」と道路形態に対して否定的な評価がされていた。

これらより、「見るだけで満足」となる細街路は、『建物』は店舗が少なかったり、住宅感を感じる場合や、『道路』は登り坂や行き止まりという道路形態に否定的な印象を感じる場合など、『建物』と『道路』のうち一方でも悪い印象があると誘引性に影響し、「見るだけで満足」という評価に留まる傾向にあることを捉えた。

次に、「入りにくい」細街路(⑩のみ)の理由として、最も多く挙げられた構成要素(表2)は『道路』であった。その評価理由(表3)としては「行き止まりだから」「道が暗い」であった。また、『道路』に次いで多く評価されていた構成要素(表2)は『建物』であった。その評価理由(表3)としては「店舗がない」や「建物の色が暗い」であった。

これらのことより、「入りにくい」細街路は、『道路』はその形態に関する否定的な評価や、『建物』は店舗の存在が視認できないこと、さらにそのそれぞれの要素に暗さを感じることが被験者の進入意欲を妨げ、「入りにくい」となる傾向を捉えた。

以上より、「入りたい」「見るだけで満足」「入りにくい」細街路の考察から、『建物』では店舗の存在について『道路』では、道路形態が細街路の誘因性を左右していることが明らかになった。

参考文献：1) 森崎 邦・岡田 智秀：「都市空間における街区内部細街路の回遊行動を促す景観特性に関する研究—東京都表参道地区をケーススタディとして—」, pp. 556~564, 景観・デザイン研究講演集 No. 13, 土木学会, 2017. 9

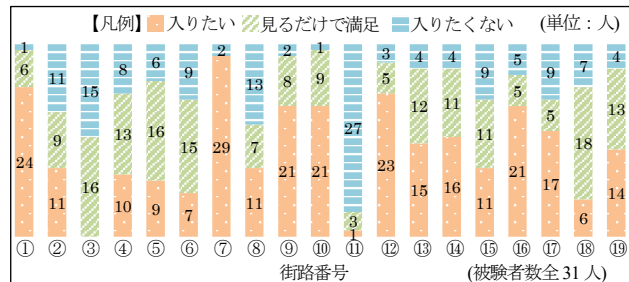


図2 街区内部細街路の外部景観評価結果 [筆者作成]

表2 構成要素別割合 [筆者作成]

評価	細街路	建物		道路		植栽	
		割合	割合	割合	割合		
入りたい (全3ヶ所)	① (N=24)	◎	21人 87.5%	○	14人 58.3%	○	3人 12.5%
	⑦ (N=29)	○	17人 58.6%	◎	20人 68.9%	○	19人 65.5%
	⑨ (N=21)	◎	16人 76.1%	◎	16人 76.1%	-	-
	⑩ (N=21)	◎	19人 90.4%	○	10人 47.6%	-	-
	⑫ (N=23)	◎	22人 95.6%	○	12人 52.1%	-	-
	⑭ (N=16)	◎	12人 75.0%	◎	12人 75.0%	○	8人 50.0%
	⑮ (N=21)	◎	16人 76.1%	○	11人 52.3%	○	10人 47.6%
	⑰ (N=17)	○	9人 52.9%	○	5人 29.4%	◎	11人 64.7%
	小計	◎6ヶ所 ○2ヶ所	75.0% 25.0%	◎3ヶ所 ○5ヶ所	37.5% 62.5%	◎1ヶ所 ○4ヶ所	12.5% 50.0%
見るだけで満足 (全3ヶ所)	③ (N=16)	▲	11人 68.7%	△	10人 62.5%	-	-
	⑤ (N=16)	▲	14人 87.5%	△	6人 37.5%	△	1人 6.3%
	⑩ (N=18)	△	12人 66.6%	▲	13人 72.2%	-	-
	⑮ (N=21)	○	3人 16.6%	▲	6人 33.3%	○	1人 5.5%
	小計	▲2ヶ所 △1ヶ所	66.6% 33.3%	▲1ヶ所 △2ヶ所	33.3% 66.6%	○2ヶ所 △1ヶ所	66.6% 33.3%
入りにくい (全1ヶ所)	⑩ (N=27)	△	18人 66.6%	▲	27人 100.0%	-	-
	小計	△1ヶ所	100.0%	▲1ヶ所	100.0%	-	-

【凡例】◎:良い1位 ○:良い2位以下 ▲:悪い1位 △:悪い2位

表3 「入りたい・見るだけで満足・入りにくい」細街路の評価理由 [筆者作成]

街路番号	主要構成要素 (複数回答あり)				副構成要素 (複数回答あり)			
	建物	人数	割合	道路	人数	割合		
① (全21人)	店舗・建物に近づきたい	17人	70.8%	道が奥まで続いている	7人	63.6%		
	店舗が多い	5人	20.8%	道幅が広い	3人	27.2%		
	小計 (N=24)	22人	91.6%	小計 (N=11)	10人	90.9%		
⑨ (全16人)	店舗に近づきたい	11人	57.9%	道幅が広い	6人	40.0%		
	店舗が多い	3人	15.8%	道が曲がっていて進みたい	4人	26.6%		
	奥にある店舗に近づきたい	2人	10.5%	道が明るい	4人	26.6%		
小計 (N=19)	16人	84.2%	小計 (N=15)	14人	93.3%			
⑩ (全19人)	店舗に近づきたい	8人	33.3%	道が奥まで続いている	6人	75.0%		
	奥にある店舗に近づきたい	7人	29.1%	日陰が良い	2人	33.3%		
	店舗が多い	4人	16.6%	道が奥まで続いている	2人	33.3%		
	レンガの建物が気になる	3人	12.5%	道幅が丁度良い	2人	33.3%		
	小計 (N=24)	22人	91.6%	小計 (N=8)	6人	75.0%		
⑫ (全22人)	店舗に近づきたい	16人	50.0%	道が曲がっていて進みたい	9人	90.0%		
	奥にある店舗が気になる	13人	40.6%					
	店舗より人がいる	3人	9.3%					
	小計 (N=32)	32人	100.0%	小計 (N=10)	9人	90.0%		
⑭ (全12人)	店舗に近づきたい	6人	46.1%	道が曲がっていて進みたい	7人	77.7%		
	奥にある店舗が気になる	4人	30.7%					
	小計 (N=13)	10人	76.9%	小計 (N=9)	7人	77.7%		
⑮ (全16人)	店舗が多い	11人	45.8%	日陰が良い	2人	33.3%		
	店舗に近づきたい	7人	29.1%	道が奥まで続いている	2人	33.3%		
	店舗より人がいる	3人	12.5%	道幅が丁度良い	2人	33.3%		
	小計 (N=24)	23人	95.8%	小計 (N=6)	6人	100.0%		
③ (全11人)	奥の建物に近づきたい	2人	13.3%	登り坂がづらい	2人	33.3%		
	店舗が少ない	8人	53.3%					
	住宅があるだけに見える	5人	33.3%	小計 (N=6)	2人	33.3%		
⑤ (全14人)	店舗が少ない	11人	100.0%	行き止まりだから	4人	66.6%		
	店舗が老朽っぽい	3人	15.7%					
	建物の色が単調である	2人	10.5%					
住宅があるだけに見える	2人	10.5%						
小計 (N=19)	18人	94.7%	小計 (N=6)	4人	66.6%			
⑩ (全27人)	道路		建物					
	行き止まりだから	20人	58.8%	店舗が少ない	8人	36.3%		
	道が暗い	8人	23.5%	建物の色が暗い	6人	27.2%		
	裏路地だから	4人	11.7%	建物が気を引きものがない	3人	13.6%		
	小計 (N=34)	32人	94.1%	建物による人が少ない	2人	9.0%		
建物による圧迫感	2人	9.0%	建物による圧迫感	2人	9.0%			
小計 (N=22)	21人	95.4%						

【凡例】: 本文記載事項

※回答が1人の評価は省略